

自治体学会関東フォーラムin 湘南・神奈川

# 東海道沿線の跡地開発の誘導と歴史的建造物の保存再生 ～新しいライフスタイルの創造と生活に根ざした街並みの継承～

2013年6月29日（土）10：00～17：00

I部 街歩き 10:00～12:00

辻堂駅北口集合～明治市民センター  
耕余塾跡、三鶯家、大山街道道標、湘南C-X等

II部 シンポジウム

13:30

開会 あいさつ

13:45～14:50

基調講演 菅 孝能 氏(株)山手総合計画研究所代表  
「東海道沿線の跡地開発の誘導と歴史的建造物の保存再生」

15:00～17:00

分科会でのディスカッション

第一分科会 「大規模跡地の土地利用」

- ・小山田 良弘 氏(平塚市職員) 都市計画提案制度を活用した平塚市の事例
  - ・山崎 正美 氏(茅ヶ崎市職員) 地区計画等を活用した民間誘導のまちづくりなど
  - ・海東 保文 氏(藤沢市民) 市民の目から見た湘南C-X
- コーディネーター 菅 孝能 氏

第二分科会 「歴史的建造物の保存と活用」

- ・山口 洋一郎 氏(茅ヶ崎市文化景観を育む会) 茅ヶ崎館をはじめとした取り組み
  - ・佐野 晴美 氏(湘南藤沢文化ネットワーク) 藤沢宿エリアでの取り組み
  - ・小林 紘子 氏(神奈川まちづかい塾) 明月荘をはじめとするまちづかい塾の取り組み
- コーディネーター 蒔 健夫 氏(神奈川県住宅供給公社専務理事)

17:00

閉会

III部 懇親会 17:30～

場所は辻堂駅付近を予定

【参加費】 シンポジウム：一般 1,500円 学生 500円 自治体学会会員 1,000円  
街歩き（共通）：500円 懇親会：4,000円

【定員】 100名（先着順）

【申込方法・連絡先】

[お名前、連絡先住所、所属団体名、電話（自宅または所属団体）携帯電話・e-mail、申し込み区分]を明記の上、メールあるいはファックスで、2013年6月25日（火）までに、実行委員会事務局もしくは「自治創造コンソーシアム」までお申し込みください。

○自治体学会関東フォーラム in 湘南実行委員会 事務局  
〒251-0053 藤沢市本町3-14-20 杉渕 武  
sugim@jcom.home.ne.jp TEL&fax 0466-26-1283

○自治創造コンソーシアム（Eメールのみ）info@jichi.org

【主催】自治体学会関東フォーラム in 湘南実行委員会

【共催】神奈川自治体学会、特定非営利活動法人 自治創造コンソーシアム、  
特定非営利活動法人 パブリックリソースセンター

【後援】藤沢市、自治体学会



【会場】藤沢市明治市民センター ホール  
藤沢市辻堂新町1-11-23  
JR東海道線辻堂駅北口徒歩5分

## 東海道沿線の跡地開発の誘導と歴史的建造物の保存再生

～新しいライフスタイルの創造と生活に根ざした街並みの継承～

2013年6月29日（土） 10：00 ～ 17：00

### 【趣旨】

オレンジと深緑の車両、湘南電車が走る東海道線沿線地域は、戦後の高度成長期以来、鉄道の輸送力によって、沿線の都市開発や産業の発展が支えられてきました。

しかしながら、1990年代後半からの産業構造のソフト化や少子高齢社会の到来など社会経済構造の大きな変化を受け、湘南地域の東海道沿線の市街地は、大規模工場が撤退し土地利用が商業施設や大規模な住宅地へ転換しています。その土地利用転換にあたっては、各自治体は、大規模商業施設や大規模マンションが集中することによる市街地環境の悪化を防止するため、都市計画の様々な手法を用い、地域住民の意見も反映しながら、土地利用の誘導を図っています。その代表例として、藤沢市辻堂駅北側の「湘南C-X」があり、平塚市では工場跡地の土地利用について都市計画提案制度を用いた提案が行われ、茅ヶ崎市では地区計画の手法を用いた特色あるまちづくりを進めるなど、地域活性化にとってふさわしい土地利用の議論と実践が行われています。

湘南地域の東海道沿いの土地利用や都市開発の変遷を振り返りながら、将来の都市のあり方について考えるとともに、自治体それぞれが、特性と能力を活かして、跡地開発の誘導を図っている理念や手法を実例から学び、自治体の都市づくりの参考とします。

また、相模湾に臨む東海道沿いの地域は、気候温暖な地で、日本で最初の海水浴場が誕生した地域であり、別荘地・保養地として、多くの文人や政財界の著名人が居を構え、進取の気風に富む地域文化を醸成してきた地域でもあります。そして、戦後の経済発展とともに良好な住宅地を形成してきている地域でもあります。

旧東海道沿いに数多く残り、現在も活用されている別荘や邸宅、古民家、庭園などは、近世以来の歴史や文化、市民の生活を学ぶことができる歴史的な証の場であります。市民活動が活発な湘南地域では、湘南の気候風土から生まれてきた別荘や邸宅、古民家、庭園などの歴史的建築物を保存し活用しようという活動が、邸園文化圏再生構想とも連携し、大磯町の吉田邸をはじめ広がっており、また旧東海道の宿場を活かしたまちづくりについても、平塚や小田原などで市民主体の活動が活発です。

湘南地域における歴史的建築物の保存と活用の具体的事例を学び、邸園文化を生かした街並みの形成を進めるとともに、歴史・文化を後世に伝えるまちづくりの参考とします。

このような趣旨で、古民家を訪ねるとともに、「湘南C-X」の街を歩き、都市づくりの実例を学ぶことができるよう、JR東海動線・辻堂駅の北口にある、藤沢市の「明治市民センター」で、**自治体学会関東フォーラム in 湘南・神奈川** を開催いたします。午前中の「街歩き」と午後の「シンポジウム」によって、これからの都市づくりの方向性を議論します。

なお、今回のフォーラムは、神奈川自治体学会のフォーラムとしても位置づけ、神奈川自治体学会総会も行う予定です。

## 6/29 参加票

FAX 0466 (26) 1283

( 街 歩 き ・ シンポジウム ・ 懇 親 会 ) ※出席するものに○をつけてください

( 一 般 ・ 学 生 ・ 自治体学会会員 ) ※該当する区分に○をつけてください

お名前	連絡先住所
所属団体名	e-mail
電話(自宅・所属団体) ( )	携帯電話 ( )